

第6回

# 日本医療ソーシャルワーク学会 岡山大会 — 開催のご案内 —

大会テーマ

「その人らしさを支える」

～激動の時代にゆらがない医療ソーシャルワーカーの視点～

開催日：2015年 9月12日(土曜日) 13:00～18:00

懇親会 19:00～

9月13日(日曜日) 9:20～12:30

(9月11日13:30 プレ企画

国立ハンセン病療養所長島愛生園フィールドワーク)

会 場：倉敷市民会館 (倉敷市本町17番1号)

主 催：日本医療ソーシャルワーク学会

<http://www.jsmsw.jp/>

後 援：  倉敷市、岡山県社会福祉士会、  
岡山県精神保健福祉士会、岡山ソーシャルワーカー協会、  
岡山県医療ソーシャルワーカー協会

〈申込み・問い合わせ先〉

日本医療ソーシャルワーク学会 岡山大会事務局  
総合病院岡山協立病院内

〒703-8511 岡山県岡山市中区赤坂本町8-10

TEL 086-271-7829

FAX 086-271-0919



日本医療ソーシャルワーク学会

# 1 大会スケジュール

プレ企画 9月11日(金曜日)13:30 \*事前申し込み要

国立ハンセン病療養所フィールドワーク(長島愛生園歴史館見学など)

## 1日目 9月12日(土曜日)倉敷市民会館

12:00~	受付
13:00~	開会式 学会長あいさつ 大会長あいさつ
13:15~14:15	記念講演:「エンパワーメントに寄り添う。ハンセン病の歴史と現場から」 講師:畑野 研太郎先生(国立療養所邑久光明園名誉園長)
14:15~14:20	休憩
14:20~15:20	基調講演:「地域福祉と地方分権の進展」 講師:木村 陽子先生(日本都市センター参与)
15:20~15:30	休憩
15:30~16:00	報告:テーマ「これからの変化に求められるSWの力」 猿渡 進平 氏(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室)
16:00~16:15	休憩
16:15~18:00	分科会
19:00~	懇親会 会場:倉敷アイビースクエア(フローラルコート)

## 2日目 9月13日(日曜日)倉敷市民会館

9:00~	受付
9:20~	ワークショップ ①「ソーシャルワーカーのアイデンティティを抱き続けるために ~ジレンマの社会化を考える~」 ②「退院支援から生活支援へ ~解決構築アプローチを用いた支援~」 ③「ソーシャルワーク実践から『貧困』の実態を考える」 ④「ソーシャルワークの価値と倫理に基づくアセスメント」
11:50~	休憩
12:00~12:15	ワークショップ全体会
12:15~12:30	閉会式

# 2 分科会

9月12日の開催にあたり演題発表者を募集いたします。申し込み締切は6月5日(金)です。採否のお知らせは7月上旬までに連絡させていただきます。また抄録原稿の締切は7月30日(木)です。

\*詳細は別紙参照下さい。

## 3 ワークショップ(事前申込み要) ※定員制の為、ご希望に添えない事がありますのでご了承下さい。

### ①「ソーシャルワーカーのアイデンティティを抱き続けるために ～ジレンマの社会化を考える」 定員60名

講師:村上 須賀子先生(日本医療ソーシャルワーク学会副会長 NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会理事長)

激動の時代だからこそ、医療ソーシャルワーカーとしてのアイデンティティがゆらぐことはないでしょうか。組織から求められる機能、クライアントからの要求、自分自身の価値観などの狭間で、迷うことはないでしょうか。ゆらがない医療ソーシャルワーカーの視点を大切に実践のために「ジレンマ」を共有、認識した上で「ジレンマ」に対しての対処や問題をどのようにソーシャルアクションに繋げていくか、ということについて考えてみませんか。

### ②「退院支援から生活支援へ ～解決構築アプローチを用いた支援～」 定員30名

講師:大垣 京子先生(日本医療ソーシャルワーク学会 会長)

医療ソーシャルワーカーは、クライアントが大切に思っていることを大事にしながらかる暮らし、暮らすことができるよう、さまざまな退院支援を実践してきました。医療機関からの退院支援は、社会で暮らす「生活者」としての患者を支援することであり、退院の際、クライアントが「望む生活」をイメージできていることが重要です。

解決構築アプローチは、クライアントが最後まで自分らしく生活することができるよう、クライアントの力を呼び戻し、未来へ目を向けるためのアプローチです。クライアントの力に着目した支援のあり方について、事例を用いて体験的に学びます。

### ③「ソーシャルワーク実践から『貧困』の実態を考える」 定員130名

講師:下村 幸仁先生(山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科 教授)

「医療費の支払いに困る」、「医療にたどり着けない」、「年金が少ないため介護サービスが受けられない」など、医療ソーシャルワーカーの日常業務の中で、「貧困」の問題は顕在化し、経済的問題のため治療・介護を受けられないという事態に陥っていることも少なくありません。このセッションでは、講演を基調にすえ、医療ソーシャルワーカーの実践と医療現場での報告をもとに、医療ソーシャルワーカーとして「貧困」をどう捉え、向き合っていけばよいか、また、本年度からはじまった生活困窮者自立支援事業にも視点を置き、「貧困」を取り巻く法制度の問題についても考えます。

### ④「ソーシャルワークの価値と倫理に基づくアセスメント」 定員60名

講師:竹内 一夫先生(兵庫大学健康科学部看護学科 教授 日本医療ソーシャルワーク学会 副会長)

ソーシャルワーク実践の根拠として客観性が求められる時代となり、ソーシャルワークのアセスメントは、単なる情報収集・分析のみでなく、クライアントに説明できる論拠が求められています。ソーシャルワーカーが持つべき、ゆるがない価値・視点を再確認するとともに クライアントの権利を守るアセスメントについて今一度考えてみませんか。講義とアセスメントの実際を通して深めていきたいと思います。

#### ワークショップ事例募集について

ワークショップ②と④は、参加者の実践事例をもとに進行します。

自分の支援を振り返りたい方、もやもやした思いがある方、ぜひ事例を提供してみませんか。

ご協力いただける方は6月4日までに直接事務局へお申し出ください。

追って事務局からご連絡いたします。

※メールのタイトルに「ワークショップ事例協力可能」と記載してください

※岡山大会事務局メールアドレス:msw@okayama-health.coop (※学会ホームページとは異なります)

## 4 大会参加申込みについて

事前のお申込みが必要です。申込み用紙に必要事項を記入の上、下記申込期間内に日本医療ソーシャルワーカー学会岡山大会事務局(岡山協立病院)までFAXもしくは郵送にてお申込み下さい。

申込用紙受信と参加費振込が確認できた時点で受付完了となります。

申込用紙は大会ホームページからダウンロードできます。・学会ホームページ <http://www.jsmsw.jp>

[参加申込期間] 2015年8月22日(土)まで

## 5 大会参加費・懇親会費について

大会参加費等は下記のとおりです。同封の振込用紙をご利用いただけます。  
事務処理の都合上、同じ所属でもお一人ずつ手続きの上、当日振込控えをご持参下さい。

### 参加費

日本医療ソーシャルワーク学会 正会員・準会員	5,000円
岡山県医療ソーシャルワーカー協会 A・B会員	5,000円
非会員	7,000円
学生	1,000円
懇親会費(参加者のみ)	6,000円

**岡山大会専用口座** 学会会費口座と異なりますのでご注意ください。

ゆうちょ銀行 記号15440 番号13304661

口座名称:日本医療ソーシャルワーク学会 岡山大会  
(ニホンイリョウソーシャルワークガックイ オカヤマタイカイ)

他の金融機関から振込される場合は次の内容をご指定下さい。

【店名】五四八(読み ゴヨンハチ)

【店番】5 4 8【預金種目】普通預金【口座番号】1330466

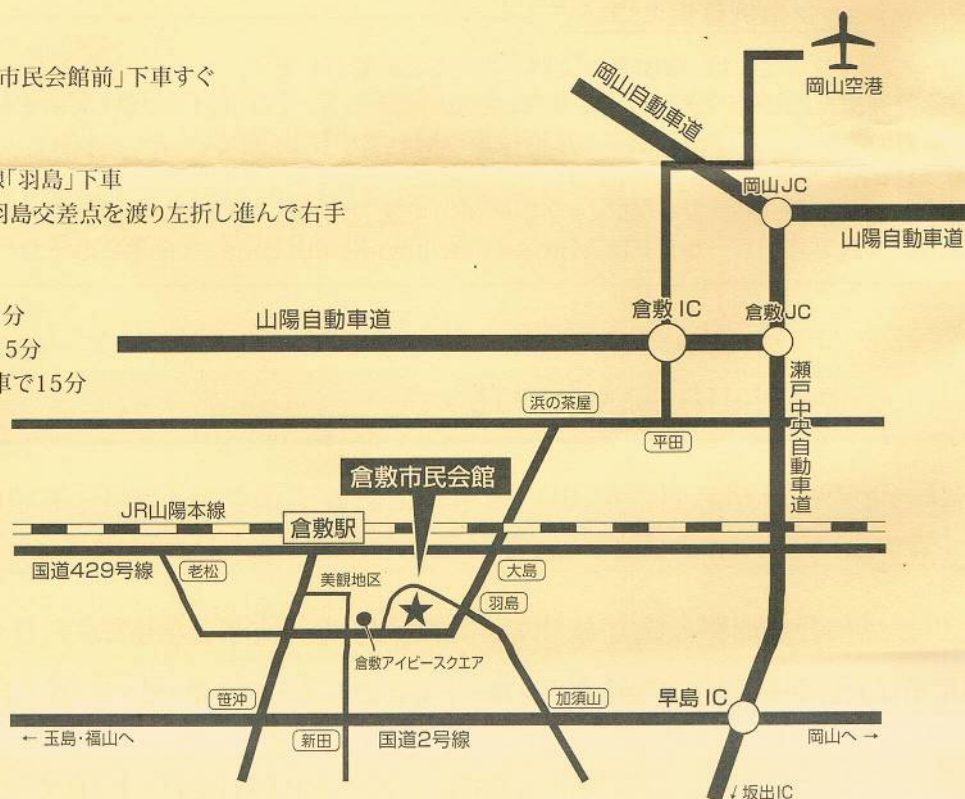
※受付完了後、原則としてキャンセル・返金には応じかねます。

## 6 会場アクセス

倉敷市民会館 〒710-0054 倉敷市本町17番1号

- JR倉敷駅から
  - ・徒歩で20分
  - ・バス:児島方面行き天城経由で「市民会館前」下車すぐ
  - ・タクシーで5分
- JR茶屋町駅から
  - ・バス:茶屋町イオンモール倉敷線「羽島」下車  
バスの進行方向に歩いて羽島交差点を渡り左折し進んで右手
  - ・タクシーで15分
- 岡山空港から
  - ・バス:倉敷駅方面 倉敷駅北口35分
- 倉敷IC(山陽自動車道)から車で15分
- 早島IC(瀬戸中央自動車道)から車で15分

※ただし、駐車場は十分な台数がないので、公共の交通機関をご利用下さい。  
※所要時間は目安です。交通状況などにより変わってきますのでご了承下さい。



第6回日本医療ソーシャルワーク学会岡山大会 参加申込書

ふりがな			
参加者 氏名			
所属機関 (所属部署)			
所在地	〒	都道府県名:	
電話番号	勤務先・個人	—	—
	携帯電話番号	—	—
	※フィールドワーク参加者は携帯電話番号もお書きください。		
FAX	勤務先・個人	—	—
E-MAILアドレス			

該当する欄に○をつけて(必要事項を記入して)ください。

1.参加日程

1日目(9月12日)	参加・不参加
2日目(9月13日)	参加・不参加
懇親会(9月12日)	参加・不参加
フィールドワーク (9月11日)	参加・不参加

2.学会参加種別

正会員・準会員	
岡山県協会A・B会員	
非会員	
学生	

3.ワークショップ(2日目)の希望

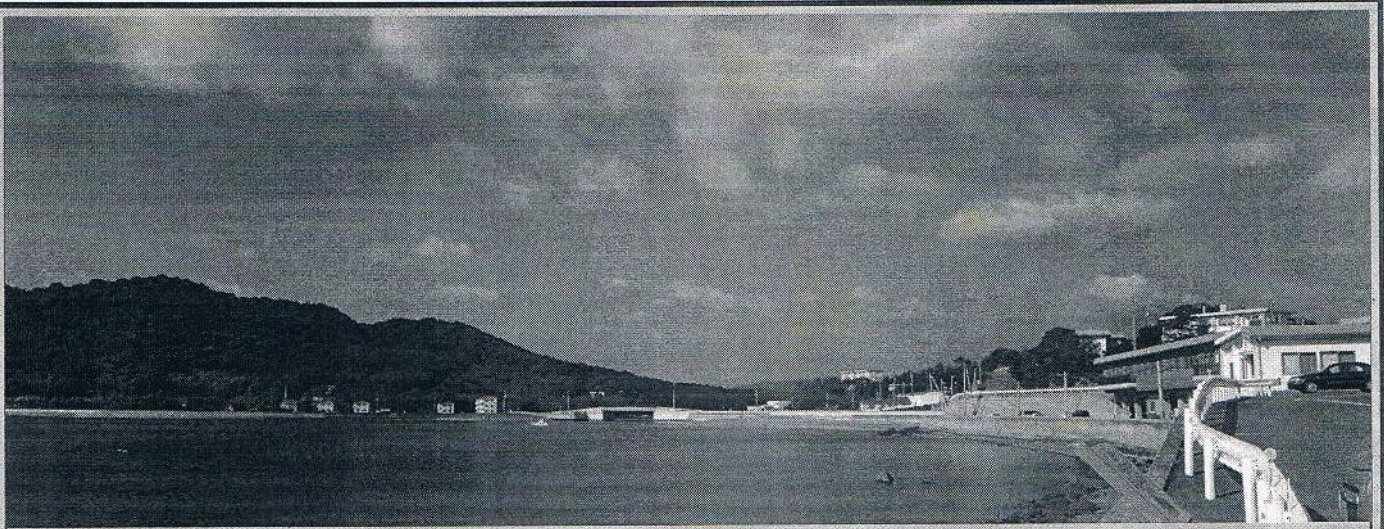
第1希望	
第2希望	
第3希望	

開催のご案内をご覧の上、ワークショップの番号を記入してください  
**必ず第3希望までお書きください**

大会参加費 該当する欄に○をつけ、合計金額をお書きください。

参加者種別	正会員・準会員	岡山県協会A・B会員	非会員	学生
	5,000円	5,000円	7,000円	1,000円
懇親会	6,000円			
フィールドワーク	3,000円			
合計	円			

事前申込・参加費振込締切 8月22日(土)



第6回 日本医療ソーシャルワーク学会 岡山大会 プレ企画

# 長島愛生園フィールドワーク

～ ハンセン病の歴史、そこで生きてきた人々の想いを感じる旅 ～

## 国立ハンセン病療養所長島愛生園で人権について改めて考えませんか

国立のハンセン病療養所は全国に13か所ありますが、愛生園は1930年全国初の国立療養所として建てられ、日本では国の政策として、療養所への隔離がおこなわれてきました。

1945年にはハンセン病の特効薬が開発され、完全に治癒する病気となりましたが、隔離政策は1996年の「らい予防法」廃止まで続きました。国の長年の誤った政策により一般市民にも誤解と偏見が植えつけられ現在まで残ります。そして無関心が広がっています。

ある入所者の方が言いました。「私はとても悔しい。こんなに人権を踏みにじられてきたのに、その事実が知られることなく自分たちがいなくなっていくことが」と。

私たちソーシャルワーカーは人権をもっと大切にしなければならないにも拘わらず、国の誤った政策を長年看過してきました。まずは知ることから始まります。ハンセン病にまつわる事実を、現地で当事者から身をもって感じるフィールドワークに参加しませんか？

## フィールドワークスケジュール

日時 2015年9月11日(金)

スケジュール予定)

参加費) 3000円(貸切バス、資料代含)

13:30 岡山駅集合・出発(貸切バスにて移動)

定員) 50名(申込多数の場合は参加調整あり)

車中でハンセン病、愛生園・光明園の学習

申込み) 大会案内に同封されている「申込み用紙」に

14:20 愛生園到着フィールドワーク開始

必要事項を記載の上申込みください。参加者のみなさま

歴史館見学(資料や展示品より学びます)

には後日詳しい案内をお送りいたしますので、申込み書

歴史回廊(愛生園歴史的建造物を巡ります)

にE-mail等の連絡先を記載ください

入所者との交流

\* 歩きやすい服装、靴にてご参加ください

17:00 愛生園を出発

18:30 倉敷駅着・解散